

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.50

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	特定健診・特定保健指導事業	担当部署	健康福祉部 保険課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	高齢者の医療の確保に関する法律 鳴門市特定健康診査等実施計画 鳴門市保健事業実施計画		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成	20 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると				終期	未定
(小項目)		社会保障					
施策	8	国民健康保険制度の円滑な実施					
基本事業	3	特定健診・特定保健指導の推進					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	生活習慣病に着目した特定健康診査・特定保健指導事業を実施することにより、生活習慣病の予防・重篤化予防に努め、被保険者の生活の維持・向上を図りつつ医療費の伸びを抑制する。		事業 内容 (R1)	①特定健康診査・特定保健指導の実施 対象者に受診券を送付する。受診者の内メロリクシンドロームの該当者・予備群の者に対し特定保健指導を行う。 ②コールセンター方式による受診勧奨の実施 保健師等専門職をオペレーターに採用し、健康相談を兼ねたきめ細やかな受診勧奨を行い、対象者の受診意欲の高揚を図る。 ③鳴門市医師会と受診率向上についての協議・検討 みなし健診事業についての一定のルールを整備するなど、円滑な実施に向けて協議を図る。				
実施方針	①特定健康診査・特定保健指導の実施 ②コールセンター方式による受診勧奨の実施 ③鳴門市医師会と受診率向上の方策についての協議・検討			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	特定健康診査受診者数	3,081	3,329	4,411	4,916	5,411	人
	2	特定保健指導利用者数	288	279	355	396	436	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	特定健診受診率		28.6	31.7	40.0	45.0	50.0	%

事業の 実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①コールセンター方式による受診勧奨の実施	①コールセンター方式による受診勧奨の実施	①コールセンター方式による受診勧奨の実施	①コールセンター方式による受診勧奨の実施 ②検査項目の拡充 ③みなし健診事業	継続
事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
	計	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額	52,786	52,786
		41,000	0	41,000		

事務事業名	特定健診・特定保健指導事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	特定健診対象者に対して、7月に特定健診受診券を送付し、受診を促した。広報なると、他課イベント等各種媒体の活用、大型商業店舗でのPRを行った。コールセンター方式による受診勧奨においては、取り組み時期を早め、既往症や受診歴等を有効活用した効果の高い受診勧奨通知を送付したほか、電話勧奨を行うオペレーターに看護師等専門職を採用し、健康相談の要素を兼ねたきめ細やかな受診勧奨を行うことで、対象者の受診意欲の高揚につながるよう努めた。頸部エコー検査を組み合わせた巡回健診バスによる特定健診では、健康増進課所管のがん検診と同時実施とし、継続してPSA検査(前立腺がん検査)を実施するなど、健診内容の充実と男性利用者の拡大を図った。また、インターネットを介した電子申請による申込みを導入し、利用者の利便性の向上を図った。
--------	-----------	---

指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 特定健康診査受診者数	3,329	3,294	4,916	5,411	5,897	人
	2 特定保健指導利用者数	279	360	396	436	475	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	特定健診受診率	31.7	32.1	45.0	50.0	55.0	%
	目標達成率(実績/目標)		80.3				%

事業費推移 (円)	年度	平成30年度決算	令和元年度決算			
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計	31,760,975	0	30,831,732	0	30,831,732
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	21,460,000	0	20,222,000	0	20,222,000
	地方債	0	0	0	0	0
	使用料・手数料	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	10,300,975	0	10,609,732	0	10,609,732

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	特定健診受診率		成果指標に対する所見	受診率は増加したが、目標には届かなかった。		
	目標	40	%				
	実績	32	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	国民健康保険等各保険者に実施が義務化されているが、被保険者には義務化されていない制度である。生活習慣病は初期では自覚症状がないこと、現に生活習慣病治療中であっても健診対象となることなどから、受診の必要性が理解されにくい。 また、対象者の属性や受診歴等状況に応じたアプローチを行い、健康意識の醸成や受診行動を促す必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和2年度	コールセンター方式による受診勧奨について、対象者の細分化等これまでの実施結果を有効活用したより効果的な勧奨を実施する。鳴門市医師会との連携し、受診率向上に向けたみなし健診事業を開始するとともに、みなし健診の認知や特定健診の受診率向上の意義が伝わるような環境づくりに努める。他医療保険者と連携した受診率向上に向けた取り組みを行う。
	令和3年度	勧奨手法の研究、工夫を行い、さらなる受診率向上につなげたい。